

横浜国大土木同窓会員（1983年卒） 大中晋氏 令和5年度外務大臣表彰を受賞

外務省より令和5年度外務大臣表彰式が8月16日に発表され、同22日に外務省飯倉別館にて林外務大臣による授賞式が行われました。

本同窓会員 大中晋氏が「技術分野における国際協力の推進」という功績により、名誉ある「外務大臣表彰」を受賞いたしました。

大中氏は、インドネシア国バリ島におけるバリ海岸保全事業（サヌール海岸、ヌサドゥア海岸、クタ海岸、タナロット寺院にて2000年~2008年に実施）において、景観・環境に配慮した海岸侵食対策事業の計画から設計、施工監理に関わってきました。同事業は日本の土木学会賞環境賞およびアジア土木学会賞を授賞するとともに、同事業を通じた技術的知見は、海浜再生にかかる技術的課題とその解決策に関する具体的な取組に関する論文として発表してきました。これらの取り組みが、インドネシアの海岸保全分野の技術移転を円滑かつ有効に行うために有益なものであり、また、我が国の経済協力の効果的な推進に寄与したことが評価され、在インドネシア日本国大使館からの推薦により授賞したものです。

なお、大中氏は現在、引き続きバリ海岸保全事業（フェーズ2）事業にプロジェクトマネージャーとして従事しており、バリ島に来る機会があった際には、是非声をかけてほしいとのことです。

**対象事業名：**バリ島海岸保全事業（日本の円借款事業として2000~2008年に工事を実施）

**事業概要：**1970年代からのバリ島の観光開発に伴い、世界的に有名な海岸であるサヌール海岸、ヌサドゥア海岸およびクタ海岸で深刻化していた海岸侵食に対し、養浜を主体とする砂浜再生事業を実施。また名勝地として有名な、海に突き出したタナロット寺院では波の作用による崖侵食が進行し、崩壊の危機にあったため、景観を考慮した防護対策を実施。



<授賞式>



<林外務大臣との会談>